

①要約：

このアイデアは、Web 会議において参加者の貢献度を可視化し、参加意欲を高めることを目的としています。会議の開始前に参加者の役職や専門知識を予測し、会議中に行われる会話の内容と関連性を分析し、参加者の貢献度を数値化して表示します。参加レベルが低い場合には通知が送られ、参加者は自身の参加意欲を向上させるよう促されます。

②目的：

このアイデアの目的は、Web 会議において参加者の参加意欲を高め、より活性化した会議を実現することです。参加者がカメラや音声を無視して他の作業に集中してしまう欠点を解消し、会議への積極的な参加を促すために貢献度の可視化や通知が活用されます。

③新規性：

このアイデアは、Web 会議の参加者の貢献度を可視化し、参加意欲を高めるという新しいアプローチを提案しています。会議前の予測と会議中の自然言語処理を組み合わせることで参加者の貢献度を分析し、数値化することで、会議の活性化に繋がります。また、閾値の設定や通知機能を活用することで、参加者に参加意欲を促す独自のシステムが実現されています。

④独自性：

このアイデアの独自性は、Web 会議における参加者の貢献度の可視化という観点にあります。通常、Web 会議では参加者の表情や態度が分からないため、参加意欲が低下する場合がありますが、このアイデアでは貢献度を数値化して表示することで、参加者に自身の参加度合いを把握させることができます。また、参加レベルに応じた閾値の設定や通知機能も独自の特徴です。

⑤経済価値：

このアイデアは、会議の活性化や参加意欲の向上を促すことで経済価値を持つと言えます。Web 会議の効果的な運営は時間とコストの節約に繋がるため、参加者の参加意欲を高めることにより、会議の効率性や成果の向上が期待できます。また、このアイデアを活用することで、会議の主催者や参加者がより価値のある情報を得ることができるため、経済的なメリットが生まれます。